

— IYの持続的な発展を目指して ~今こそ労働組合としての役割・機能を発揮するとき~ —

さんか

SANKA!



SEP 2019

vol. 523

令和元年9月17日発行



IYの持続的な発展を目指して “2019年度活動報告”



ISMとはIY主義であり全ては商売の原点です。
I=挨拶(あいさつ)「挨拶」は、相手に心をひらくこと。「挨拶」は相手に近づくこと=礼儀
S=躰(しづけ)自分の身を美しく見せるという意味。自身を愛すること=自信
M=身嗜み(みだしなみ)容姿・服装・言葉遣い・態度を正すこと=心掛

田村まみ参議院議員 国会に初登院!



2019年7月の第25回参議院議員選挙の当選を受けて、8月1日(木)に第199回臨時国会が開会し、田村まみ参議院議員が初めて国会に登院しました。

田村まみ参議院議員は、「国会議員になったことがゴールではなく、ここからがスタート。全国みなさんと意見交換をして集めた声、そして政策を実現させるべく、働く人の笑顔のためにしっかり頑張っていく」と意気込みを語りました。

私たちの目指す「組合員の不安のない、より豊かな暮らし」を実現するには、労使での協議、取り組みによる企業の発展、労働条件の維持・向上、そして生活に係わる諸問題を「政治の場」を通じて解決させていくことが重要です。

今後も皆さんの政治活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

イトーヨーカドー労働組合 定期中央大会告示

組合員各位
イトーヨーカドー労働組合
中央執行委員長 石合 弘二
下記の通り、第50回定期中央大会の開催を告示します。
記
1.日程:令和元年10月4日(金)
2.場所:東天紅 上野本店
3.議案:第1号議案
[2020年度活動方針]
第2号議案
[イトーヨーカドー労働組合結成
50周年記念事業・行事] 他

イトーヨーカドー労働組合 中央役員選挙告示

第50回定期中央大会の開催にあたり、中央役員
の立候補を下記の通り受け付けます。
記
1.立候補期間
令和元年9月19日(木)~25日(水)
2.立候補受付方法
立候補される方は、組合本部へ立候補の旨を届
け出て、所定の用紙に必要事項を記入・捺印の
うえ、選挙管理委員会に提出するものとする。
以上
令和元年9月13日(金) 選挙管理委員長

セブン&アイグループ労働組合連合会 定期大会告示

組合員各位
セブン&アイグループ労働組合連合会
会長 石合 弘二
下記の通り、第41回定期大会の開催を告示し
ます。
記
1.日程:令和元年9月27日(金)
2.場所:東天紅 上野本店
3.議案:第1号議案
[2020年度活動方針]
第2号議案
[2020年度予算について] 他



INDEX

- 03 **石合弘二中央執行委員長あいさつ**
労使による『事前協議、協働の取り組み』を通じて、
この難局を乗り越えていこう!
- 04 **2019年度活動のポイント**
- 05 **2019春季労働条件交渉、冬期・夏期一時金交渉**
- 06 **支部大会、支部座談会、支部労使協議会**
- 07 **ゾーン労使懇談会、階層別研修会、部門・階層別座談会**
- 08 **支部イベント、セブン&アイまるごとキャンペーン2019
アニバーサリーメッセージ**
- 09 **IVY募金、IVY活動**
- 10 **「改善=工夫」運動**
- 11 **2018年度新入組合員フォロー研修会
2019年度新入組合員研修会
2019年度若手組合員交流会「I☆YOUTH」**
- 12 **セブン&アイグループ労働組合連合会
Pumpkinフェスタ2019**
- 13 **結団式、支部解散式**
- 14・15 **2019年度ゾーン活動を振り返って**
- 16・17 **2019年度組合員意識調査報告**
- 18・19 **田村まみ当選報告**
- 20 **セブン&アイグループ労働組合連合会
第41回定期大会告示
イトーヨーカドー労働組合第50回定期中央大会告示
中央役員選挙告示**

石合中央執行委員長あいさつ

この難局を乗り越えていこう！
労使による『事前協議、協働の取り組み』を通じて、

まずは、去る7月21日に行われた第25回参議院議員選挙において、私たちの上部団体であるUAゼンセンの組織内候補「田村まみ」が、政党支持率が最後まで伸び悩む厳しい情勢の中、『260,324票』の個人名票を獲得し、国民民主党内・連合組織内で見事トップ当選を果たすことが出来ました。足掛け2年にわたる多くのご協力に改めて感謝申し上げます。本当に有り難うございました。

既に議員活動はスタートしておりますが、掲げた政策である「悪質クレーム対策、正月休業法、休日保育の拡充、働き方改革関連法への対応」など、企業労使では解決できない諸課題に、しっかり取り組んでいただくことを前提に、引き続きのご支援を宜しくお願い致します。

一方で、私たちを取り巻く足元の状況は変わらず厳しく、先日行われた第一四半期決算発表において、セブン&アイHLDGS.の2019年度連結目標であるROE（自己資本利益率）「IO%」、営業利益目標「CGOO億円」の達成は難しいとの判断により、全体では「CNOO億円」へ、IYはIGO億円の営業利益予算からRG億円へ下方修正をしました。

食品強化を柱としたモデル店、構造改革店舗の改装（ライフスタイル事業部の減積、テナント誘致含む）や一部飲食やFC事業へのチャレンジ、販管費の適正化を目的とした不採算事業の整理・店舗閉鎖など、それぞれの取り組みは「一定程度の効果はあるものの、全体業績を押し上げるには至っていない」というのが現状です。

こうした状況下の中で、会社は営業活動を通じて従業員の雇用・生活を守り、労働組合はその事がなされているかチェック機能を果たすと同時に、一人ひとりが社員としての義務を果たさなければなりません。

イトーヨーカドー労働組合が過去から大切にしてきたことは、生産性三原則（＝雇用の安定確保・事前労使協議制・得た利益の公正な分配）をベースとした「涸れた井戸から水は汲めない」という考え方です。

会社が持続的に成長し、私たちが求める生活・労働諸条件を向上させる為には、その源泉となる「利益」を適正に上げ続けるに他なりません。

但し、過去とは明らかにその難易度が高まっているのも事実です。専門店の台頭や、業態転換、業界再編が加速している中、ワンストップショッピング・GMS自体の価値が問われています。

また、働き方や職場環境面では、法的規制が強まっている中、ルールの遵守は当然のこと、今まで以上に生産性や労働意欲を向上させていかなければなりません。

更に地域や社会に目を向ければ、株主利益の尊重、大規模災害などへの危機管理対策、CSRやガバナンス体制の強化など、数多くの課題にしっかり対応していかなければ生き残れない時代です。

この難局は、あらゆる機会を通じた労使の惜しみない話し合い（＝事前協議）と協働の取り組み（＝生産性向上運動）によってしか乗り越えていく事が出来ないと実感しています。

事前協議にあたって必要なことは、相互理解と尊重をベースとした労使の信頼関係です。お互いの遠慮は時に解決を遅らせる事になりかねません。利害が一致している企業別労使にその必要はないと考えます。起きている問題をしっかり表に出して、その本質を見極め、先見性を踏まえた建設的な話し合いをこれからも大切にしていきたいと思います。

また、現在労使で取り組んでいる「改善=工夫」運動（＝小さな工夫や主体的な行為を褒める風土）をIYの職場に醸成していきたいと思っておりますので、引き続き皆さんのご協力を宜しくお願いいたします。



中央執行委員長 石合弘二

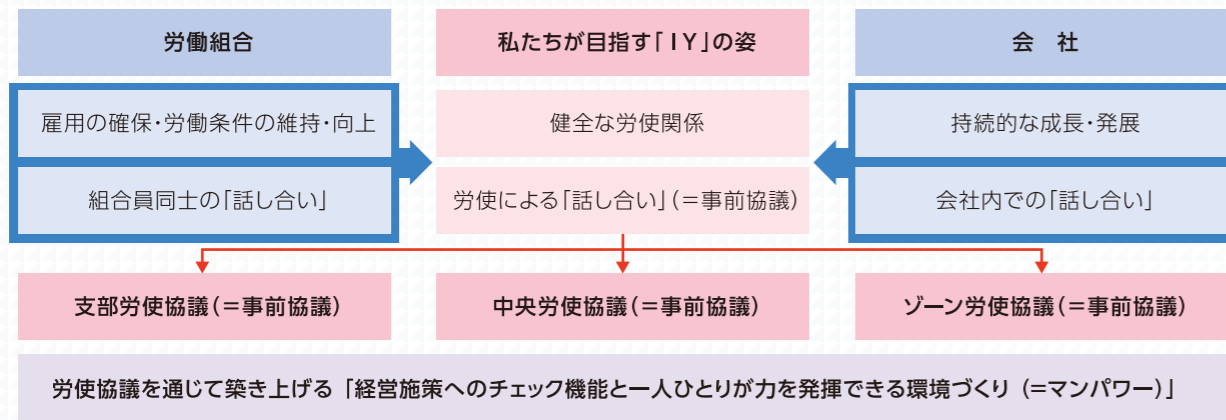
2019年度活動のポイント

2019年度は「IYの持続的な発展を目指して～今こそ労働組合としての役割・機能を発揮するとき～」をスローガンに活動を進めてきました。私たちの働く職場環境をより良くするため「皆で考え・話し合い・解決していく組織」そして「一支部一組合=支部労使協議（労使の話し合い）ができる組織」を目指し、今年度の活動に取り組みました。

I. 「皆で考え・話し合い・解決していく組織」

労働組合の活動の目的は、「雇用の確保」と「労働条件の維持・向上」です。健全な労使関係のもと、労使による「話し合い（=事前協議）」によって、それらは実現していきます。私たちの働く職場は店舗・本部であり、「支部」です。組合員が支部で抱えている問題や労働組合への要望（=組合員の声）は多様化しており、業態、職場、職種、地域、労務構成などにより大きく異なっています。労働組合の活動の目的を遂行していくためには「皆で考え・話し合い・解決していく組織」が必要であり、スピーディーかつダイレクトに職場の「組合員の声」を反映させていくには、健全な労使関係が大切です。

今年度も労働組合の活動の目的に向け、支部・ゾーン・中央の各役割・機能を強化し、支部活動の活性化そして「組合員の声」を大切に活動を進めてきました。



II. 「一支部一組合=支部労使協議（労使の話し合い）ができる組織」

日頃のお世話活動や支部座談会、支部イベント等を通じてあがった「組合員の声」を支部代表委員長を中心とした支部役員で整理し、労使協議会の申し入れを行い、支部労使協議会にて、店・本部の幹部に伝え（共有）、『協議⇒改善・解決』することで「組合員の声による、より良い営業環境の実現」「経営基盤の整備による雇用・労働条件の向上」「働きがいのある職場環境の実現」に繋がりました。

いちしぶいちくみあい 「一支部一組合=支部労使協議（労使の話し合い）ができる組織」

支部労使協議会の流れ



支部で改善・解決できない問題・課題については、ゾーン労使協議会、中央労使協議会を開催していきます。
流通産業全体の問題・課題については、上部団体と連携し、政治活動を通じて解決を目指します。

2019年度活動の振り返り

私たち労働組合は「雇用の確保」と「労働条件の維持・向上」のために、会社と交渉を行っています。今期も経営とのコミュニケーションを行い、賃金改善や働き方改革関連法への対応など支部からの「組合員の声」をベースに、会社との交渉を行いました。

2019春季労働条件交渉

2018年度年間業績は、当初の営業利益目標に対して大きく割り込んだ中での交渉となりました。労働組合としては、「組合員の声」をベースに会社の持続的な成長に必要な「人財への投資」といった考え方を踏まえ、採用・定着課題への対応、社会水準（現在の労働力の価値）に基づいた賃金水準の引き上げ、見直しについて伝えた結果、会社から誠意ある回答をいただきました。

また労使専門委員会の答申に基づき、組合員の労務構成・要員構成の変化や将来的な人手不足、採用・定着課題等のIYを取り巻く環境変化を踏まえ、議論を進めてきました。その中で組合員の納得感や働きがいを重視し、NAFP嘱託組合員トータルでの公平性・競争力を高めていく事が求められていることから新人事処遇制度に至りました。

(I) 賃金要求妥結内容

ナショナル・エリア組合員	フィールド組合員	パートナー組合員
総額一人平均6,341円(1.77%) 賃金体系維持分4,333円(1.21%) +賃金改善分2,008円(0.56%)	総額一人平均3,699円(1.58%) 賃金体系維持分2,344円(1.00%) +賃金改善分1,355円(0.58%)	総額一人平均29.57円(2.87%) 賃金体系維持分23.47円(2.27%) +賃金改善分6.27円(0.60%)

※NAF組合員の賃金改善分には初任給改定による採用・定着加算を含む

2019春季労働条件交渉～付帯項目について～

(II) 付帯要求妥結内容「働き方改革関連法」に関する対応

①同一労働同一賃金への対応
子女手当の新設については、フィールド社員だけでなく、嘱託社員も含め導入する。フィールド社員の退職金制度の在り方については、労使専門委員会にて継続協議とする。

(III) 付帯要求妥結内容「採用・定着」に関する対応

- ①ナショナル・エリア社員人事処遇制度改定について
①2019年4月より、資格手当の減額と職責手当増額を行い、職責手当のウェイトを高める。但し、大幅な賃金変更による影響の緩和措置(1回の減額分は15,000円を限度)の実施と「担当者」の新しい職域開発を行いながら進めていく。また、職務職能給レンジレートの見直しについては、今回の導入を見送り、2020年4月以降とし、段階的な導入を図る。
②セルフチェック制度(評価制度)について年間総合評価の反映を明確にする。なお、セルフチェック制度の現行の課題を踏まえ、相対評価と資格別評価のあるべき評価基準の在り方を検討し、適正な評価制度の運用・点検を行う。
③2020年度4月より降級降格制度の運用を開始する。本人の職務遂行能力等の資格条件が当該資格に適合しなくなった場合に下位資格への高級降格を実施する。資格と職責の連動を高めていく中でセルフチェック評価についても、従来実施の3段階中心の評価から、R1とR5も評価する5段階評価を進めていく。
- ②嘱託社員人事処遇制度改定について
役職継続者の処遇改善、評価制度を導入する。但し、評価制度については、労使専門委員会にて継続協議し、2020年度より反映する。

③パートナー社員人事処遇制度改定について

項目	内容	実施日
①給与項目の変更	最低賃金の対象項目の変更	2019年9月より改定実施
②曜日時間帯加給の導入	最低賃金上昇に伴う、曜日・時間帯加給の優位性の維持	2019年9月より改定実施
③職種加給の新設	生鮮部門(精肉・鮮魚・惣菜)と食品レジに対し、職種加給を新設。併せて、個店と併せた職種別曜日・時間帯加給の設定	2019年9月より改定実施
④技術技能給の見直し	職種加給新設に伴い、現在の技術技能給の検定・認定基準および、加給金額の見直し	2020年3月以降に改定実施
⑤賃金改定の見直し	新人事処遇制度導入に伴い、経験や技術を発揮していただける方、成果を上げている方がより評価される賃金改定基準へ変更	2020年3月以降に改定実施
⑥一時金支給基準の見直し	新人事処遇制度導入に伴い、一時金支給基準の見直しを検討	2019年度夏期より一部改定実施 ※シニアパートナー社員
⑦社会保険加入ルールの変更	時給調整の廃止	2019年6月より改定実施
⑧有給休暇取得ルールの変更	半日有給休暇制度の導入	2019年9月より改定実施

④シニアパートナー社員の一時的支給月数の見直し
2019年上期一時金より、シニアパートナーの年間評価A～BC評価者(C評価者除く)に対し、年間の支給月数を0.05ヶ月(半期0.025ヶ月)引き上げる。

⑤社任関連・出張に関する手当見直しについて

- 《社任関連に関する手当》
①幹部住宅制度の在り方の見直し ②転勤時手当の在り方の見直し
③単身赴任手当の改訂 ④社員寮制度の改訂
⑤転勤者住宅補助制度の年齢制限の撤廃
《出張に関する手当》
①国内出張手当の見直し
②海外出張手当の見直し

冬期・夏期一時金交渉

	冬期一時金	夏期一時金
ナショナル・エリア組合員	81%	77%
フィールド・嘱託組合員	91%	89%
パートナー組合員	93%	92%

今年度の冬期・夏期一時金はどちらも支給係数表の枠外の営業数値となり、制度上の係数表では支給水準を図ることができないため、別途交渉となりました。

労働組合からは一時金は「生活給の一部」であることや「組合員の日頃の頑張りへの評価・対価」であることを伝え、これを踏まえた支給を要求しました。会社からは今後の業績回復を目指し、組合員への期待を踏まえた回答をいただき、妥結に至りました。

支部大会

支部役員の紹介、支部活動計画、支部会計報告、春季労働条件交渉に向けた考え方などを支部組合員にダイレクトに伝え意見を集約することを目的に開催し、様々な活動を推進していくことを決定しました。



支部座談会

支部座談会とは、支部の組合員が集まりコミュニケーションを図る場です。具体的には、お客様視点で店の問題点を共有し、一人ひとりがお客様に支持されるお店づくりについてどうすれば良いか意見や提案を出し合い、風通しの良い活気あふれる職場環境の実現、業務効率の向上(ムリ・ムダ・ムラ)につながる様々な課題についての改善・解決策を考えていくことを目的に開催しました。



支部労使協議会

支部座談会などで集約された「組合員の声」や就業、職場環境改善に向けた具体的な取り組み内容の協議・確認、営業に対する問題・課題提起と改善提案を目的に開催しました。

各支部の労使で具体的な改善・解決策を決定し、支部の組合員に共有を行い、支部で解決できない問題・課題については「ゾーン労使協議会・中央労使協議会」の場で声を伝えました。



ゾーン労使懇談会

現場で起きている問題・課題に対し、労使で考え、話し合い、解決していく組織風土を醸成、共通の認識を持つことを目的に、今年度より全ゾーンで労使懇談会を開催しました。

現在、多くの店舗で問題となっているハラスメント対策や行動分析学を通じたコミュニケーション教育など、外部講師の方をお招きし、セミナーを実施しました。各店の店長、シスター、支部代表委員長が出席し、改めて労使協働でより良い職場環境を築いていくことの大切さを考える機会となりました。



階層別研修会

支部の活動をより活性化すべく、労働組合の基礎知識の習得・活動方針の周知徹底や人材の育成を目的に、役割に応じた教育・研修として階層別(新任中央執行委員・ブロック長・新任支部代表委員長・支部副代表委員長・職場リーダー・支部パートナー委員)の研修会を開催しました。

この研修会を通じて、労働組合に対する理解を深め、支部での活動を推進していくことにつながりました。



部門・階層別座談会

組合員(従業員)同士のコミュニケーション活動、座談会の主旨・目的の浸透、より良い職場環境、お店づくりのための意見交換を目的とし、ネットスーパー部門と西日本ゾーンサービス部門(SCC・CHM・シスター)の2つの座談会を開催しました。

当日は商品部の方、トレーナーの方にもお越しいただきそれぞれの部門の業務の在り方、考え方についてお話しいただきました。日常業務では、他店の同じ部門でコミュニケーションを図る機会が少ないため、参加された方からは「問題・課題を共有できて良かった」「他店のやり方を聞いて、自店に持ち帰り実施したい」などの声をいただきました。



支部イベント

労働組合の活動は一部の人だけでは成り立たず、より充実したものにするためには支部の組合員全員が参加・参画することが必要不可欠です。その参加・参画のきっかけ、そして支部の組合員のコミュニケーション力、チームワーク力の向上や組織体制の構築を図るため、支部イベントを実施しました。

また、今年度は下期に「支部イベント重点期間」を設定し、活動を進めるうえで全員参加を目指したイベント企画として「まるごとけん玉カップ2019」を実施しました。



セブン&アイまるごとキャンペーン2019

生産性向上運動の一環として、セブン&アイグループに働く組合員（従業員）とその家族が、グループ各社で買い物・食事をする企業風土（愛社精神）を育むことや、お客様視点で買い物をするお客様に信頼され、喜ばれる店作りにつなげていくことを目的に、「セブン&アイまるごとキャンペーン2019」を実施しました。

今年度は多くの組合員の参加に繋がる取り組みをしていただいた支部を「まるごとPR大賞」、支部の応募目標数を達成し、その中で達成率が高い支部を「まるごと全員参加賞」として表彰を行いました。

最終応募実績（応募件数）21,950件



アニバーサリーメッセージ

IYファミリーの輪を拡げる活動の一つとして、小学校・中学校に入学する組合員のお子様と同居のお孫さんへ「おめでとう」の気持ちを込めて、メッセージと記念品をお贈りするアニバーサリーメッセージは、労働組合結成30周年を機にスタートし、今年で19年目となりました。

今年度も「組合員とご家族」が、イトーヨーカ堂をより身近に感じていただくことで、帰属意識を高めていただくこと、お祝いのメッセージと記念品の贈呈を通じて、組合員間、家族間のコミュニケーションを図ることを目的に取り組みました。



IVY募金



【2019年度 年間募金総額】

7,372,972円

2019年9月4日(水)現在

地域社会に感謝の気持ちを表すことを目的に「IVY募金」活動を実施しています。

集めた募金の50%を店舗周辺の福祉施設へ、40%は「ドリームファンド社会福祉基金」に積み立てられ、災害などの救済活動や環境保護活動に役立てられるようにしています。また、残り10%を国際福祉に寄付しています。

今年度も皆様のご協力ありがとうございました。

IVY活動



「第3回わかばフェスティバル」

と き：2018年11月10日(土)
と ころ：社会福祉法人松里福祉会
社会生活介護事業所わかば園
参加人数：14名

「二葉乳児院清掃活動」

と き：2018年11月24日(土)
と ころ：二葉乳児院
参加人数：6名

「日産ふれあいロードレース」

と き：2019年3月2日(土)
と ころ：日産テクノカルセンター
参加人数：6名



「かすみがうらマラソン
兼国際盲人マラソン」

と き：2019年4月14日(日)
と ころ：茨城県土浦市川口運動公園
参加人数：9名



「富士見乳児院清掃活動」

と き：2019年8月9日(金)
と ころ：富士見乳児院
参加人数：22名

IVYとは、IYの中にボランティアの心である「V」の字を入れたイトーヨーカ堂労働組合のボランティア活動の総称です。

各ゾーンで今年度も多くの皆さんにIVY活動にご参加いただきました。それぞれの地域に自分たちが貢献できる活動を今後も進めていくとともに、さらなる組合員のみなさんの参加をよろしく願っています。

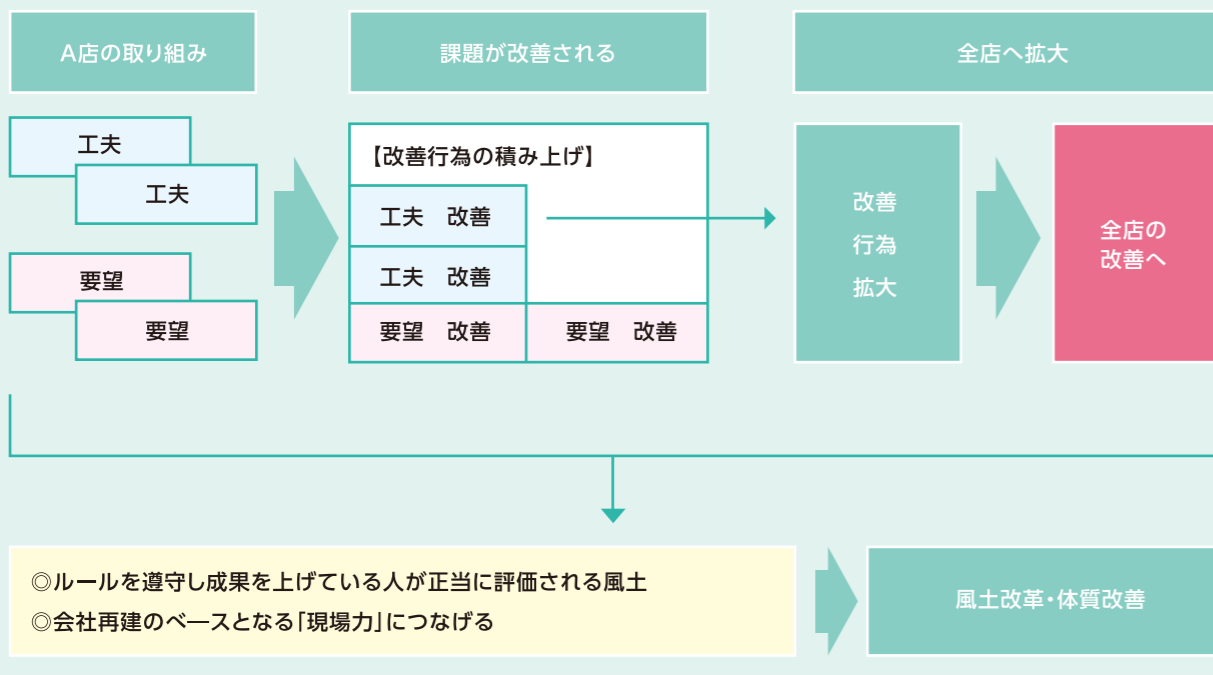


「改善=工夫」運動

春季労働条件交渉の妥結を受け、私たちは権利を求めばかりでなく、働く組合員一人ひとりが義務を果たすという姿勢を大事にしてきました。この考え方を今一度見つめ直し、自分たちの職場環境や働き方について当事者意識を持つこと、問題・課題に対し、改善・解決に取り組む風土づくりの必要性・重要性を再認識しました。

この風土をつくる為に全従業員による「改善=工夫」運動を労使協働で、6月3日(月)よりスタートしました。日頃から感じている問題・課題について自ら考え、出来ることから工夫し継続することで、自ら考え職場環境を改善していく意識を醸成し、生産性の向上を通じて業績回復に繋がっていきます。

私たちの日常業務の中にある「ムリ・ムダ・ムラ」について、一人ひとりの【工夫】による改善、また、上長や本部に【要望】しての改善を積み重ね、その取り組みを社内全体へ拡大していく事を「継続的」に実施していく。この取り組みが「現場力」を高めていき、職場の環境改善や業績向上へとつながっていく。



2018年度新入組合員フォロー研修会

とき 2019年2月7日(木) ところ ビジョンセンター浜松町 参加人数 82名

2018年度入社した新入組合員を対象に同期や先輩社員との情報共有、そして業務上での悩みの解決を目的に開催しました。グループディスカッションや「SDGs」の外部セミナーを通じて知識を深めるとともに、業務上で必要な知識やスキルの習得、コミュニケーション力・主体性の醸成、広い視野を持つことの必要性を学びました。

今後も、イトーヨーカ堂そして労働組合の将来を担う若手組合員の教育・フォローに力を入れていきます。



2019年度新入組合員研修会

とき 2019年6月14日(金) ところ なかのZEROホール 参加人数 152名

2019年度入社した新入組合員を対象に「2019年度新入組合員研修会」を開催しました。この研修会はイトーヨーカ堂に入社し、組合員になったことを実感してもらい「労働組合の基本的な考え方」や「組合活動」の説明を通じて、今後の組合活動への参加意識を高めてもらうために開催しています。

当日は、河西販売事業部長にお越しいただき、「新入社員に期待すること」をテーマにご講演をいただきました。また、新入組合員のプレゼンテーションでは「令和は我々の時代」をテーマに、令和を自分たちの時代にするために何が必要であるのか、各支部が時間を掛け考え、創り上げたものを発表しました。リーダーを中心にチームの色を分析し、力を合わせて創った作品を、緊張しながらも楽しんで発表しました。



2019年度若手組合員交流会「I★YOUTH」

とき 2019年7月26日(金) ところ 新宿ワープ 参加人数 21名

今後のイトーヨーカ堂を担っていく次世代のリーダーの発掘と若手組合員がより労働組合の活動に参加するためのきっかけを目的とし、2019年度若手組合員交流会「I★YOUTH」を開催しました。

職場における問題・課題や悩みを共有することや、若手組合員が労働組合活動に携わるためにどのような活動が必要なのかをディスカッションした後、チームごとに夕食のメニューを計画、調理を行い交流を図りました。

今後も若手組合員が主体的に労働組合活動へ、より積極的に関わっていただける活動を行っていきます。



セブシ&アイグループ労働組合連合会Pumpkinフェスタ2019

今年度、セブシ&アイグループ労働組合連合会は結成40周年を迎え、その40周年記念事業の柱となるイベントとして「Pumpkinフェスタ2019」を開催しました。結成40周年を祝うとともに、テーマである「共に未来へ」の活動につなげていくことを目的に労連6万人のマンパワーとスケールメリットを活かしグループ内のコミュニケーションの強化、組織のチームワークや一体感の醸成を図りました。

フェスタの中では「けん玉グランプリ2019」を実施、各労働組合の代表支部が参加し、白熱した闘いを繰り広げました。

また、みなさんにご協力いただいた「エコキャップ回収運動」は、最終結果として労連全体で約127万個を回収し（内イトーヨーカドー労働組合約89万個）、ワクチン約2,000人分のキャップを集めることが出来ました。皆さまのご協力ありがとうございました。

地域	会場	日程	人数
首都圏	埼玉・さいたまスーパーアリーナ	8月21日(水)	659名
東北	仙台・仙台PIT	8月23日(金)	89名
北海道	札幌・Zepp札幌	8月27日(火)	119名
関西	大阪・松下IMPホール	8月27日(火)	101名
中京	名古屋・レジェンドホール	8月29日(木)	123名

1,091名の方にご参加いただきました!



結団式

新店オープンにともない、結団式を開催しました。労働組合も活動を通じてサポートしてまいります。

食品館上大岡店	食品館千住店	食品館厚木店
 とき 2019年2月7日(木) ところ 港南区民文化センター 人数 115名	 とき 2019年2月15日(金) ところ 東京芸術センター-天空劇場 人数 101名	 とき 2019年2月20日(水) ところ 海老名市民文化会館 人数 100名

支部解散式

多くのお客様に惜しまれながら9店舗が今年度閉店をむかえ支部解散式を開催しました。各支部の組合員の皆さま、大変お疲れ様でした。

釧路支部	福山支部	古河支部	東大阪支部	新田支部
 閉店日: 2019年1月20日(日) 解散式: 1月24日(木) ところ: 釧路店店内 人数: 151名	 閉店日: 2019年2月11日(月) 解散式: 2月15日(金) ところ: 福山店内 人数: 150名	 閉店日: 2019年2月17日(日) 解散式: 2月21日(木) ところ: 古河店内 人数: 160名	 閉店日: 2019年2月17日(日) 解散式: 2月21日(木) ところ: 東大阪店内 人数: 250名	 閉店日: 2019年2月24日(日) 解散式: 2月28日(木) ところ: 新田店内 人数: 120名

直江津支部	ザ・プライス川口支部	ザ・プライス西川口支部	上福岡東支部
 閉店日: 2019年5月12日(日) 解散式: 5月16日(木) ところ: 直江津店内 人数: 100名	 閉店日: 2019年5月19日(日) 解散式: 5月23日(木) ところ: ザ・プライス川口店内 人数: 100名	 閉店日: 2019年5月20日(月) 解散式: 5月24日(金) ところ: ザ・プライス西川口店内 人数: 83名	 閉店日: 2019年8月25日(日) 解散式: 8月29日(木) ところ: 上福岡東店内 人数: 196名

 支部代表委員長 鈴木 邦彦	 支部代表委員長 箱田 洋平	 支部代表委員長 山下 博司	 支部代表委員長 高橋 力也
-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

32年間、本当にお疲れ様でした。直江津店で毎日営業できたことは全従業員の力だと思えます。直江津店が開店した時からのお客様も沢山おられ従業員の方々に仲良く、家族のような感覚で接して下さったお客様にも感謝の言葉しかありません。

支部代表委員長としては短い期間でしたが、フレンドリーに接していただけ、仕事も組合活動も皆さんが協力していただけたことに感謝しかありません。

別々の道を歩まれる方もいらっしゃると思いますが、直江津店の努力とガッツを忘れず頑張っていたきたいと思います。本当にありがとうございました。

昭和～平成～令和と48年間と長い間営業してこられたのは、今までザ・プライス川口店に携わった諸先輩方の努力あってのことと感じ大変感慨深いです。

私が携わったのは2年半と短い期間でしたが、小型店ならではのチームワークを感じる素晴らしいお店でした。

他の職場に勤務する方や職場を離れる方もいらっしゃいますが、身体に気を付けながらそれぞれの道で頑張ってください。ありがとうございました。

閉店という過酷な事態を乗り越えることができたのも、ザ・プライス西川口店45年の歴史の中で組合活動やイベントを通して培った団結力があってこそだと思います。

残念ながら閉店とともに支部も解散となってしまいますが、この閉店という経験を前向きに活かして、これからの道を歩んでいきたいと思います。組合活動へのご理解とご協力ありがとうございました。

閉店セール大変お疲れ様でした。8月に実施した七夕まつりや地域自治会様との盆踊り大会など各々思い出がたくさんあったかと思えます。

また、組合イベントのお食事会やボウリング大会、パーベキューなどたくさんの方にご参加いただきました。

パートナー組合員の皆さまのご協力あって組合活動を実施することができました。

最後に上福岡東店の従業員、パートナーの皆さま、最後の最後まで上福岡東店を支えてくださり感謝申し上げます。今まで本当にありがとうございました。



北海道/東北・北関東
ゾーン議長
田中 大樹

北海道/東北・北関東ゾーン

今年度は「一支部一組合の確立」を目指し活動を推進してきました。役割を明確にし、階層別研修会を実施することで、組合役員が各々の役割や活動方針への理解が深まり、活発な活動に繋げることができました。そうした活動を通じて集まった組合員の声を会社に伝え、職場環境の改善に取り組みました。また、私たちの働く環境を良くしていくために、「流通の代表を国政に送り出す」ことを目標として政治活動を継続してきました。一人ひとりが理解・納得したうえで行動に移したことが結果に結び付き、大きな目標を達成することができ、改めて小さな活動を積み上げることの大切さを感じました。活動の成果を継続して残しつつ、また磨きをかけ、私たちのより働きやすい、やりがいの持てる環境をつくっていきましょう。来年度も組合員全員が活動に参加・参画し、全員が一丸となって取り組んでいきましょう。



埼玉ゾーン議長
中川 勇樹

埼玉ゾーン

2019年度を振り返ると、第19回統一地方選挙、第25回参議院議員選挙、埼玉県知事選挙と、まさに選挙イヤーとなった1年でした。そんな中でも支部の役員皆さんに多大なるご協力をいただき、多くの候補者を応援することができました。2018年度の会社業績が非常に厳しい状況の中、組合員一人ひとりが業績改善・より働きやすい環境を目指した創意工夫を実践するべく、「働き方改革」と「改善=工夫」運動の取り組みを始めました。この1年で完結するのではなく常に進化することを目指し、組合員同士が意見・提案をしあえる風通しのいい環境をつくるために活動を進めています。そのためには支部の労使関係をより強固なものにする必要があります。問題・課題に適切な対応をするためにも支部労使協議会の内容を組合員と共有できるよう、組合役員だけでなく組合員一人ひとりが一つひとつの活動に対して自発的な参加・参画により強固な支部組織を目指しましょう。



千葉ゾーン議長
瀧澤 めぐみ

千葉ゾーン

2019年度は、基本の活動をしっかりと実施することで支部の組織体制を強くし、「一支部一組合の確立」を目指すという目標を立て取り組んでまいりました。支部労使協議会の開催、支部活動参加率の向上、定例会議の実施の3つに重点を置き、ゾーン執行部・支部役員の方々と1年間活動いたしました。重点活動でもあった政治活動への理解と参画、支部イベントの実施におきましては、仲間づくりと団結力が鍵となる活動でした。組合役員をはじめ多くの組合員の皆さまに活動への参加・参画いただき、結果を残すことができ「一支部一組合の確立」に向け、ゾーン全体で前進することができました。来期についても、強い組織体制に向けて組合員の皆さまとともに活動に取り組んでまいります。一年間、多くの活動にご尽力いただきありがとうございました。



東京ゾーン議長
佐藤 洋一

東京ゾーン

東京ゾーンでは、「すべては私たちの『幸せ』実現につなげる明るい活動の実践～成果の一つひとつ積み上げることにこだわる」をスローガンとして活動してきました。1年間の活動を通して感じていることは、組合員同士の結束、組合員と組合役員の信頼関係が強くなったことです。それは支部座談会・支部労使協議会・支部イベント等の活動状況でも感じ取れます。まだまだ伸びる要素はあるものの、組合員の声を聴き、コミュニケーションを深めることができたと感じています。また、政治活動においては、スローガンに掲げた「一つひとつの積み上げ」が実を結び、私たちの「幸せ」実現に近づく、大きな成果を挙げることができました。支部のコミュニケーション深化の結果だと思っています。次年度に向けては執行部による支部へのサポートを強化してさらなる飛躍に挑戦します。皆で話し合い、皆で活動を進めていきましょう。



多摩・京浜ゾーン議長
丸山 亮人

多摩・京浜ゾーン

今年度、多摩・京浜ゾーンでは3つの拘りを持って「活動」に取り組んできました。
1. 一人ひとりが組合員としての自覚を持ち、「活動」に参加する。
2. 結果に拘り、役割を果たす。
3. 支部の規模に関わらず、「一支部一組合」を確立する。
大小様々な支部が存在する多摩・京浜ゾーンでは、どうしたら効果的に「活動」ができるか、「活動」一つひとつに明確な目標を持ち、目的や意義を伝え、ゾーン一丸となって「活動」に取り組む、それぞれの与件に応じて真剣に「活動」と向き合い、一人ひとりが責任を果たしてきました。それぞれの役割が明確になった中、次年度はより一層組合員同士が話し合える環境、労使で協議できる関係づくりに注力していきます。組合員のニーズを捉え、正しい環境認識を持って労使協議を進めていく必要があります。短絡的に実態や現象面だけで判断せずに、今何をすべきかを見極め、共通の認識を持って課題解決していくために、一人ひとりが主体性を持って共に「活動」に取り組んでいきましょう。



神奈川ゾーン議長
竹内 宏子

神奈川ゾーン

今年度、神奈川ゾーンでは、「①活動の主旨・目的を明確にして活動推進に関わる組合役員間の理解を深める」「②支部活動を進めるうえでの仲間づくり」の2つを活動のこだわりとして掲げ、活動に取り組んでまいりました。2つのこだわりを念頭において2019年度を振り返り、特に印象に残っているのは、足かけ約2年の歳月をかけて取り組んできた政治活動です。一人ひとりの力を結集して成果を勝ち得たことは、皆さんの苦勞が報われた瞬間でもありました。私自身も支部に入り込み、多くの組合員さんと直接顔を合わせて会話できたことは、大きな糧となりました。政治活動を通じて深めたコミュニケーションの輪を繋げていくためにも、次年度は「職場リーダーの配置」⇒「支部パートナー委員の配置」⇒「役割ごとの活動への巻き込み」と段階を踏みながら、支部の状況に応じて実効的な組織づくりに取り組みたいと思います。



信越・中京/西日本
ゾーン議長
宇野 典孝

信越・中京/西日本ゾーン

今年度は、「一支部一組合の確立」を目標に諸活動を進めてきました。支部座談会・支部労使協議会・支部イベントなどは年間スケジュールに沿って進められるように執行部と協力して各支部への確認・フォローを実施し、実施率・参加率向上を目指しました。結果として多くの支部で実績を残すことができましたが、全支部まで徹底できなかったことは今後の活動の参考とし「一支部一組合の確立」ができる組織に向けて役立てていきたいです。また今期の重点活動の1つであった政治活動については、多くの支部の方に階層別研修会に参加いただき、政治活動の大切さを伝えることができました。公民権行使についても支部役員と協力して結果を残すことができました。ご協力いただいた組合員の皆さま、本当にありがとうございました。初めてのゾーン議長ということで、色々ご迷惑をお掛けしたこともありますが、一年間、多くの活動にご尽力いただきありがとうございました。引き続き、組合活動においてご尽力をお願いいたします。



本部ゾーン議長
松川 将也

本部ゾーン

2019年度本部ゾーンでは、一つひとつの活動に対して主旨・目的をしっかりと伝え共通認識を持ち、それぞれの支部の状況に合わせて1年間活動を進めてきました。そうした中で支部大会の全支部開催や支部イベントの定例開催を行い、多くの組合員にご参加いただいたことは成果であると考えています。また、支部パートナー委員研修会を開催し、本部で働くパートナー組合員の声に耳を傾ける活動も行いました。そして本部ゾーンIVY活動として「二葉乳児院清掃活動」を行い地域社会への感謝とつながりを深めることが出来ました。次年度においては、活動の基盤である「支部組織の強化」や「組合員の声に耳を傾け改善を積み重ねていく」ことに焦点を置き、本部の働く環境改善に努めていくことが必要であると考えています。そのためにも日々の活動に参加・参画していただき、皆で話し合い解決していくことが必要です。今後も本部ゾーンの活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



2019年度組合員意識調査報告

イトーヨーカドー労働組合では3年に一度、全組合員を対象に「意識調査」を実施し、組合員のみなさんが、どのような気持ちで働いているのか、職場でどのような課題が起きているのか、仕事時間以外(家庭などの自分時間)の過ごし方などについて調査しています。

今回の調査は2019年3月に全組合員を対象に実施しました。その調査結果の概要を皆さんにご報告いたします。今回の調査結果を踏まえて、今後の組合活動の進め方や会社との協議(労使協議)などに活かしていきます。組合員意識調査へのご協力本当にありがとうございました。今後も活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

組合員意識調査での主な内容

1. 「仕事・業務」「組合活動」に対する意識について
2. 「生活に対する意識」について
3. 「現在の働きがい」について
4. 「休暇の取得」について(年次有給休暇の取得)

1. 「仕事・業務」「組合活動」に対する意識について

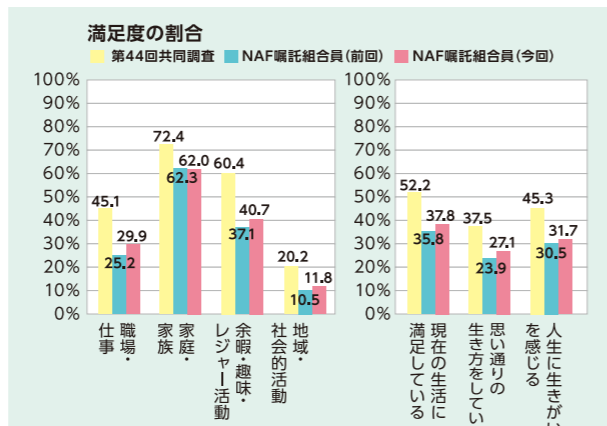
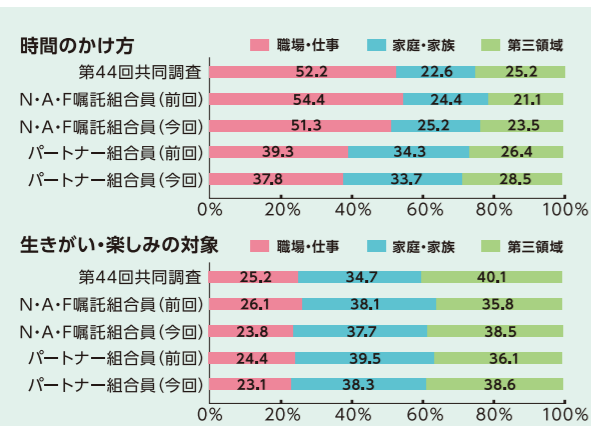
2015年度決算において上場来初の赤字を計上し、以降その要因となった不採算事業・不良在庫の整理や必要経費の見直しなど経営基盤の建て直しを図ってきました。しかし、依然として会社は利益を出せる体質になっておらず、その不安感は、組合員の意識にも大きな影響を与えていることが分かりました。

その結果、前回調査よりも会社に対する帰属意識や労働組合の活動への参加・関与、サービスについて低い数値結果となりました。これらを解決していくためにも、活動の主旨、目的を丁寧に伝えるだけでなく、「組合員に近づく活動」を意識して取り組んでいく必要があります。



2. 「生活に対する意識」について

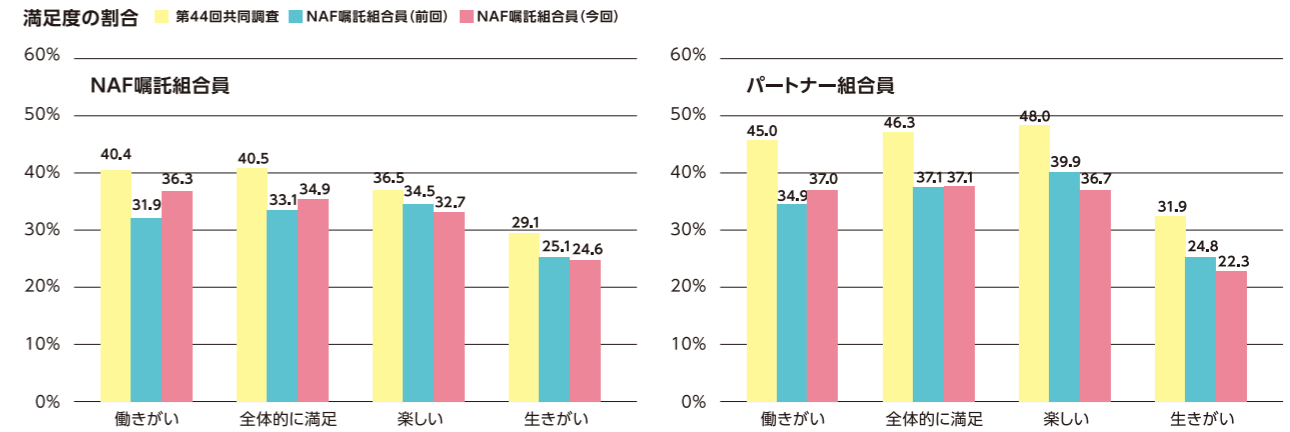
「時間のかけ方」「生きがい・楽しみの対象」について、NAF嘱託組合員は仕事以外の「家族や自分時間」の配分が仕事より上昇しているが、時間のかけ方は「仕事」が半分を占めていることが分かりました。また生活満足度は前回調査に比べて、NAF嘱託組合員、パートナー組合員ともに上昇していることが分かりました。



3. 「現在の働きがい」について

・働きがいについては前回調査より増加しているが、総合的に働きがいは低下している。
 (働きがい)NAF嘱託組合員: 前回31.9%→今回36.3%
 パートナー組合員: 前回34.9%→今回37.0%

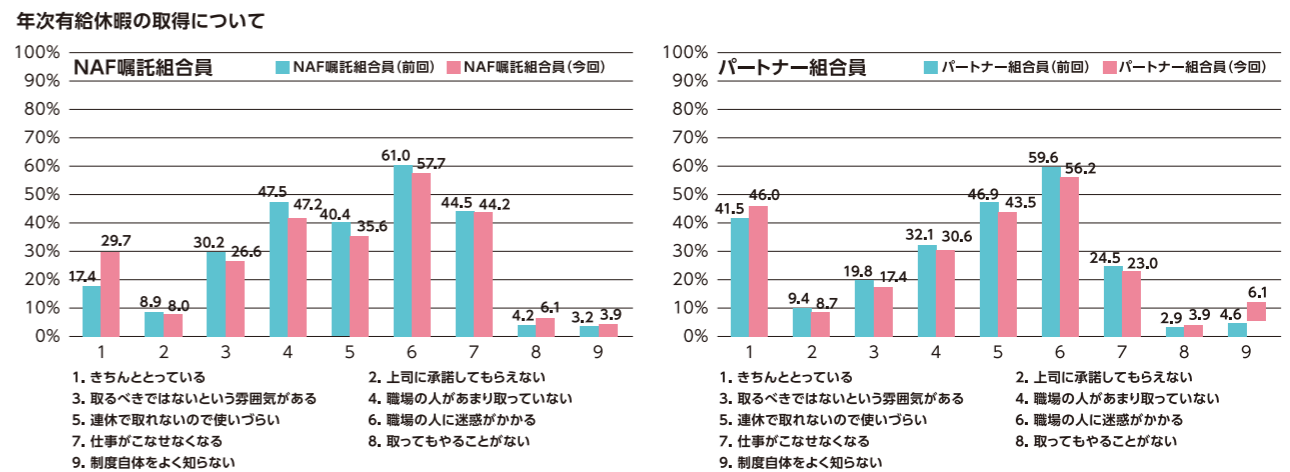
〔働きがい総合的に低下している要因〕
 会社関与の低さ、職場雰囲気満足度の低下、ボトムアップ・コミュニケーション、休暇や労働時間の満足度の低下などが考えられます。



4. 「休暇の取得」について(年次有給休暇の取得)

・前回調査と比べて、NAF嘱託組合員の年次有給休暇を取っている割合が増加している。(前回17.4%→29.7%)
 ・パートナー組合員はNAF嘱託組合員よりも取得している割合が高い。(NAF嘱託組合員29.7%、パートナー組合員46.0%)

休暇や労働時間の満足度や年次有給休暇や取得状況に対する回答をみると、NAF嘱託組合員、パートナー組合員ともに、年次有給休暇を取得できるかどうかに加えて、連休で使用できないために取得しづらいと感じることが満足度を下げていることが分かりました。



組合員意識調査結果を踏まえた今後の組合活動について

- 働きがいについては、組合活動を通じて働きがいを高める活動や制度策定などを検討していきます。
- 仕事以外の充実に向けた活動も、引き続き積極的に取り組んでいきます。
- 上記の内容も含め、問題意識を持って、労働組合の魅力や価値を感じてもらえる活動を目指して、組合員が幸せを実感できる活動を推進していきます。

田村まみ当選報告

「働く仲間の笑顔のために！」
～当選までの軌跡～

組織内議員との連携による「政治」への理解と参画を！

2017年10月6日(金)開催の第48回定期中央大会にて、2019年第25回参議院議員選挙(比例代表)組織内候補者として「田村まみ」へ支援することを、満場一致で承認しました。



田村まみの支援活動を順次実施! 職場リーダー研修会に力を入れる!

2018年10月5日(金)開催の第49回定期中央大会「第25回参議院議員選挙必勝決議」の承認を受けて、本格的に田村まみの周知活動として「階層別研修会(政治活動)」を開催しました。

私たち流通産業で抱えている問題・課題の共有、そして組合員の豊かな暮らしの実現に向け組織内議員を擁立する必要性を参加者の皆さんと確認しました。



私たち全員の思いよ届け! 全国支部代表委員長会議にて「田村まみ総決起集会」を開催!

6月27日(木)の全国支部代表委員長会議にて「田村まみ総決起集会」を開催しました。田村まみさんから第25回参議院議員選挙に向けての決意表明、そしてイトーヨーカドー労働組合からも支援の決意表明を行い、最後は出席者全員によるガンパロー三唱で当選に向けて最後まで行動することを誓いました。



各支部で決起集会を開催! 最後の最後まで走り続ける!

ご多忙の中、田村まみさんが最後の支援のお願いに支部へ挨拶に来てくれました。その熱い思いに応えるために、支部では公民権行使活動、期日前投票の最後の呼びかけを実施しました。



柳沢みつよし元参議院議員以来の流通産業出身の国会議員が誕生!

多くみなさんのご支援により、第25回参議院議員選挙にて「260,324票」を獲得し、見事当選しました。これからは私たちの目指す「組合員の不安のない、より豊かな暮らし」を実現するための第一歩です。今後もみなさんの政治活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



初当選! 国民民主党比例代表第1位!

《獲得票数》

260,324 票

田村まみ参議院議員の今後の活躍に期待!